

## 新しい白癬菌の流行

白癬（はくせん）菌は足白癬（みずむし）、爪白癬（つめみずむし）、体部白癬（たむし）、頭部白癬（しらくも）などを引き起こす真菌（かび）の一種で、いくつか種類があります。

30年程前、国内でペットの猫や犬から、人に感染する白癬菌による体部白癬が見つかり、10数年間にわたって爆発的に流行しました。この白癬菌は、ペットと共にアメリカから持ち込まれたものと推定されています。猫や犬の毛が抜けているようなときには注意が必要です。

2年程前から、国内の高校のレスリング部員や柔道部員の間でトリコフィトン・トンスランス（以下、Tr・T）という白癬菌による体部白癬や頭部白癬の流行がみられるようになりました。レスリング部員の例は、体外試合で白癬菌に感染した部員からほかの部員に感染したものです。現在では、高校に限らず、全国各地でTr・Tによる体部白癬や頭部白癬が報告されています。本市でも中学校の柔道部員に、Tr・Tによる体部白癬の患者が見つかっています。

Tr・Tによる頭部白癬は比較的症状の軽い例が多く、無症状の保菌者のいることも分かっています。そのため、治療が十分行われないう傾向にあり、感染の拡大を早めている可能性もあります。

なお、白癬菌は毛髪に感染するため、治療には外用薬だけでなく、抗真菌薬を内服しないと完治は難しいと考えられます。

Tr・Tによる体部白癬や頭部白癬は、家族の方などにも感染する恐れがありますので、感染が疑われる場合は、早めに皮膚科などにご相談ください。

また、手や足の指の間や爪のまわりなどを清潔で乾燥した状態に保ち、足白癬や爪白癬の予防に努めましょう。

平成16年 1月  
東 禹彦